



▲ふくおかの食と農推進基本指針



助村 千代子 議員

助村 食生活の間違いやからくる心身の問題がクローズアップされている。大人はもちろん、明らかに食生活のひずみで、子どもにも生活習慣病が現われている。食育推進計画を作成すべき。

## 食育計画

**我が町も作成すべき**  
答弁…策定する方向に

健康課長 県の計画の7項目の取り組みを学校、地域整備課、子育て支援課、関係各課と協議し策定することになると思っ

助村 是非作成して頂きたい。

**無料検診券の継続を**  
答弁…慎重に協議する

助村 21年度から実施されている子宮頸がん、乳がん検診無料クーポンは

23年度以降も継続が可能なのか。  
健康課長 21年度は国からの補助率は全額だったが、22年度は1/2に減額となっている。  
23年度はまだ国の方針が出ていないので答えられないが、若い方の罹患率が高いのは認識している。1市7町で慎重に協議したい。

## 手話通訳

### 手話通訳派遣事業を

答弁：委託か直営か検討する

堤 久美子 議員



堤 手話通訳を必要とする聴覚障がい者は、本町に何人か。  
福祉課長 手話で生活されている方は30人。  
堤 本町の設置事業(窓口対応、町内派遣は常勤

職員)で障がい者は不自由ではないのか。  
福祉課長 平日の時間帯手話通訳者が派遣として病院等に行くと、窓口では通訳ができない。  
堤 聴覚障がい者は、話せない、聞こえない、コミュニケーションが取れない状態にある。  
障がい者の自立支援は行政の使命、対応を。  
福祉課長 委託あるいは直営を派遣事業の持つ意味から検討する。

**総合相談窓口の設置を**  
答弁…人材等の解決で

堤 管理職員の退職等、厳しい行政運営に再任用で総合相談窓口設置を。  
総務課長 人材問題が解決すれば可能。



▲福祉課窓口手話通訳者



▲志免町役場税務課



丸山 真智子 議員

丸山 国の所得税から地方の住民税へ税源移譲され、町の責任も増えた。正当な理由がなく納税を免れたら、税負担の公平性が損なわれる。  
徴収対策の強化が喫緊の課題ではないのか。

## 町税の滞納

**増加は公平性を欠く**  
答弁…回収に全力を挙げる

町長 町税は財政の基幹をなすものなので、徴収体制の整備、要員の確保等に努める。

丸山 コンビニ収納も進めていただきたい。

町長 導入の準備中だ。

**災害時要援護者の支援**  
答弁…計画作成を目指す

丸山 災害時の高齢者や障がい者の避難支援についてプラン作成は進んでいるのか。

生活環境課長 作成に向けて関係各課と協議し、今年度中に完成を目指す。  
丸山 要援護者のリスト作成に緊急雇用対策基金事業を利用したかどうか。生活環境課長 先進地を参考に前向きに検討する。

【その他の質問】  
● 予算編成過程の公開  
● 図書資料購入費の確保

## 町政の運営

### 次期も考慮に展望は

答弁：キーワードは人

二宮 美津代 議員



二宮 3期12年の総括、第5次志免町総合計画、自治基本条例の制定と時期を同じくする中、志免町の将来をどう描いておられるのか伺う。  
町長 資源の少ない我が

町で、そのキーワードは人である。住民と一緒に作った協働のまちづくり。  
二宮 明快なビジョンと課題解決への手立は。  
町長 すべて財政でカバーできない。お互いが支え合うことが必要。  
なぜ廃止ブックスタート  
答弁…枠配分予算で削減

町長 枠配分予算の中でカット、削減せざるを得なかった。  
二宮 絵本を通じ乳児と触れ合う、ブックスタートの必要性がいわれ、評価も高い事業である。復活はできないか。  
町長 枠配分予算で、改善・改革したが、内部でいろいろ調整し、復活の方向で進めたい。



▲ブックスタート読み聞かせ

【その他の質問】  
● 里親への取り組みを